

ちぐさ

千草台公民館だより No.4
千葉県稲毛区天台 3-16-5
☎043-255-3032
2025(令和7)年7月1日発行

『この暑さ』で大丈夫？

夏至(2025/6/21 土)を過ぎ、11日後の今日7月1日は、「半夏生」(はんげしょう)と呼ばれます。正確には太陽が黄経100度の点を通る日をいうそうですが、この時期は、梅雨が終わり暑い夏へと移行する季節の変わり目で、昔から農作業の節目として大切に扱われてきました。日本各地の農家では古くから「半夏生の日までに田植えを終えていなければならない」といわれていました。そうしなければ、稲の実りが遅くなるばかりか、米が半分の量しか収穫できなくなると信じられていたのです。また、半夏生は、田植えを見届けた「田の神様」が山へ帰って行く日であるともいわれています。人々は田植えの完了までを見守ってくれた神様のために、神棚や水田にお神酒や餅を供えて感謝を伝えました。この行事のことを「さなぶり」というそうです。



令和の米騒動と言われているコメ不足と価格の高騰、備蓄米放出による対策が講じられているとはいえ以前のような価格で「新米」はいただけるのか？

農家の方々には本当に感謝の気持ちと応援の言葉をお送りしたいと思っています。

好評！ 地元クイズ企画 No2 ここはどこでしょう？

さて、先月号でのNo1の問題の答えは、『なすけの公園』が正解でした！



それでは第2弾！！ この写真はどこでしょう？

ピンときた方は答えを館長にお伝えください。

正解すれば、すっきりとてもいい気分になれます。

<お知らせ>

6/19(木)に「千草台公民館運営懇談会」が開催されました。委員の皆様には、昨年度の事業報告をし、それを受けて令和7年度の事業計画をお伝えいたしました。頂いたご意見をもとに公民館の企画・運営に関してより充実させてまいりたいと思います。また、この会議の内容を7/14(月)に行われる「稲毛区公民館運営審議会」にもってまいります。

<図書室より>

7月の購入本のお知らせ

図書室では、新刊を中心に話題の本を購入しています。7月購入予定本をお知らせします。ぜひご来館の上、お手に取っていただきたいと思います。

書名	著者名	書名	著者名
《一般書》 ・気くばりのススメ 人間関係の達人たちから学んだ小さな習慣 ・パズルと天気 ・ぼく、バカじゃないよ ・だいたいしあわせ ・ニンジャ 公安外事・倉島警部補 8 ・灰になったら夫婦円満 ・ポピュリズム ・嘘と隣人 ・逃亡者は北へ向かう ・読んでばっか ・こんなことで、死にたくなかった 法医学者だけが知っている 高齢者の「意外な死因」	中山 秀征 伊坂幸太郎 藤野 千夜 阿川佐和子 今野 敏 小川 有里 堂場 瞬一 芦沢 央 柚月 裕子 江國 香織 高木 徹也	《児童書》 ・きんぎょだいさくせん ・やなせたかし物語 なんのために生まれてなにをして生きるのか ・はるのおばけずかん ようかいクラスがえどうわがいっぱい 155 ・クジラがしんだら ・わすれていいから ・大人も知らないみのまわりの謎大全 ・たなばたさま 日本むかしばなし ・ぼうさいセブン ・いってらっしゃいうんちくん ・こどもかいぎ ・バムとケロのもりのこや ・ウエズレーの国 ・3びきのかわいいオオカミ	まつなが もえ やなせスタジオ 斉藤 洋 江口 絵理 大森 裕子 ネルノダイスキ いもと ようこ ふくだ いわお いぬいまさのり 北村 裕花 島田 ゆか ポール・フライシュマン ユージーン・トリビザス

企画展示紹介「お姫様と魔女がでてくる絵本」・「探してみよう」コーナー

☞ 図書室内に「お姫様と魔女がでてくる絵本」・「探してみよう」コーナーを設けました。絵が美しい本・ぞくぞくする本・宝物探しができる本などをお楽しみください！



↑ いろいろな「めいろ」クイズもあるよ。挑戦してみよう！

☞ 図書室内に昭和レトロコーナーを設けました。その時代の流行りや世相を懐かしんでいただけることと思います。また、その時代を舞台にした小説も集めてみましたので、ぜひご覧ください。